

## ADC からのお知らせ No.144 (2010/12/07)

MCSMDP の新規導入および PyRaf のバージョンアップ  
天文データセンター解析システムのユーザーの皆様

解析システム 12 月度メンテナンスにて、下記のようにソフトウェア・  
ライブラリ等の新規導入およびバージョンアップ作業を行いましたので  
ご連絡いたします。

対象：ana[01-14], ws[01-12], cls0[1-5]

### [ 新規インストール ]

- ・ MCSMDP-1.0

関連して、以下のソフトウェアをインストール

- |-- SciPy-0.8.0
- |-- xpa-2.1.12 ( バイナリ版 )
- |-- R-2.11.1
- |-- rpy2-2.1.5
- |-- RO Python Package
- |-- setuptools-0.6rc11-py2.5.egg

### [ バージョンアップ ]

- ・ PyRaf(1.8.1 → 1.9)

- ・ また、MCSMDP-1.0 のインストールに関連して  
以下のソフトウェア等をバージョンアップ

- |-- NumPy(1.3.0 → 1.5.0)
- |-- ATLAS(3.8.2 → 3.9.23) (R)
- |-- lapack(3.2.1 → 3.2.2) (R)
- |--[ATLAS+lapack は SUN コンパイラバンドルのライブラリを使用] (S)

(R) と (S) はそれぞれ RedHat と Solaris の意味。無印は両方共通。

今回の新規インストール、バージョンアップは (PyRaf を除いて)、  
MCSMDP-1.0 を導入するために実施されたものです。MCSMDP-1.0 は、  
RedHat、Solaris のどちらでも起動できます。また、RedHat 上では  
基本的なコマンド等も問題なく実行されることが確認されています。

上記の変更に伴い、共通スケルトンの修正 (MCSMDP, R の PATH 等を追加)  
も行っております。

新規インストールソフトの不具合等にお気づきになりましたら、  
consult [at] adc.nao.ac.jp ([at] は @ に変更) までご連絡ください。  
よろしく申し上げます。